

令和元年11月1日

報道機関 各位

第16回「人文知」コレギウム

名詞句階層から見る英語とコリヤーク語 —異質性の陰に潜む普遍性—
(言語学 呉人 恵) (英語学 藤川勝也)

基底核を発動する連体修飾の構造 (言語学 樋野幸男)

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味）。

来る11月20日（水）はその第16回となります。今回は、呉人 恵（言語学・教授）、藤川勝也（英語学・准教授）「名詞句階層から見る英語とコリヤーク語 —異質性の陰に潜む普遍性—」、樋野幸男（言語学・教授）「基底核を発動する連体修飾の構造」の3名の発表となります。詳細は、別添チラシをご参照ください。本研究会は、一般の方や学生の聴講も可能です。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

開催日時：令和元年11月20日（水） 13時30分～15時30分

会場：人文学部1階大会議室

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 人社系総務課（人文担当）

TEL：076-445-6131

FAX：076-445-6141

KIELI Tungumál IDIOMA LANGUE SPRACHE Мова
 SPRÅK LINGVO ភាសា ЯЗЫК
 SPROG Taal TIL भाषा 语言
 LÍNGUA JAZYK زبان LUGHA DİL 언어 言語
 NYELV لغة ΓΛΩΣΣΑ LINGUA VALODA LINGUAGGIO LANGUAGE

人文知

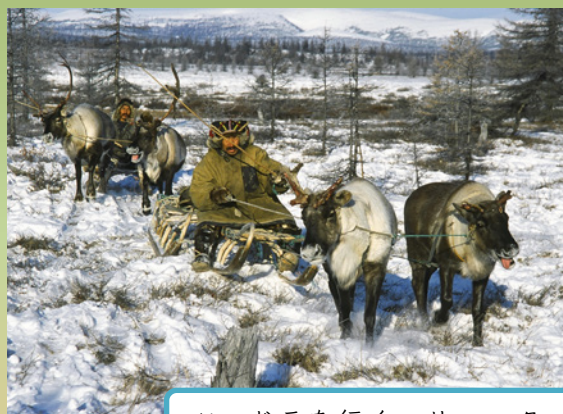
第16回 「人文知」 コレギウム

呉人 恵 (言語学・教授)

藤川 勝也 (英語学・准教授)

名詞句階層から見る英語とコリャーク語
 ——異質性の陰に潜む普遍性——

どんな言語にも、「私」「子供」「犬」「海」「悲しさ」などといった「名詞」と言われるたくさんの語がある。人はこれらの名詞をただ雑然とではなく、「階層化」して認識し、文法に反映させていると言われる。本発表では、英語とコリャーク語という系統的にも類型的にもおよそ異質な二言語の所有表現に着目し、名詞の階層化を支える共通の原理に探りを入れる。



ツンドラを行くコリャーク

樋野 幸男 (言語学・教授)

基底核を発動する連体修飾の構造

日本語の連体修飾は、連体修飾節が被修飾名詞の総体を修飾すると考えられてきた。一方、被修飾名詞の意味的基底の核である〈基底核〉を仮設することで、構造の説明が容易になる部類が存する。「(太郎が学校を休んだ)理由」という語は、ある事象に対する理由であり、その事象が基底となって成立する。本発表では、基底核に対する連体修飾について述べる。

テキサス州会議事堂



2019年11月20日(水)13:30-15:30
 富山大学人文学部・1階・大会議室

一般の方の聴講歓迎・事前申し込み不要・無料